

## 「屋代保育園基本設計（案）」に対する意見募集結果

— 貴重なご意見ありがとうございました —

提出された意見の内容及びそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>・建物外観・内観について</p> <p>基本設計案の「基本方針・設計コンセプト」にある郷土の歴史を重んじる事や地域との調和を大切にする意義は理解できるが、あまりに「保守的」で「大名屋敷」のようである。</p> <p>「大人が大人のために作ったデザイン」という感じがする。</p> <p>保育園の中心は園児であり、近年建築された保育園・幼稚園の多くが建物自体に「知育・幼児教育」ができる仕組みが整っている。</p> <p>園児には「面白そうな何か」「楽しそうな何か」「未体験の何か」、もっと「園児たちに寄り添ったデザイン」がされた保育園が必要。</p> <p>外観は周囲との調和されたデザインでも構わないが、中身について多くの先進的な保育園のような要素を取り入れるべきではないでしょうか。</p>	<p>・屋代保育園の改築にあたり、地域代表や保護者会からなる屋代保育園基本計画検討委員会で「屋代保育園基本計画」の策定を進めてきました。この基本計画を基に今回の基本設計（案）は作成されています。</p> <p>ご意見をいただきました外観のデザインについては、旧北国街道沿いの歴史ある街並みに馴染むようなデザインとなっています。屋根や外壁の色合い等については、今後各方面の意見も参考にしながら実施設計の中で検討してまいります。</p> <p>また、建物内に「知育・幼児教育」ができるような仕組みについては、園児同士で交流ができ、子どもたちの興味や好奇心を促すような仕組みについて基本計画のなかでも触れており、基本設計（案）では、絵本コーナーや交流スペース、中テラス等がそういったスペースの一部と考えています。</p> <p>先進的な保育園の要素につきましても、「園児たちに有意義なもの」については、安全性を確保したうえで検討してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>大きな屋根が気になります。</p> <p>園庭に向かって片流れの屋根には雪が大量に落ちてこないような融雪機能や雪止めなど対策はあるのでしょうか。雪や氷も心配です。</p>	<p>・園児や保護者の方が、雨や雪の日の送迎時に濡れずに保育室まで行けるように下屋（げや）部分を広く設けています。</p> <p>屋根には雪止めを2段と雨樋を設置しており、大量に雪や氷が落ちてくることを抑える設計となっています。</p>